

さこ祐仁の3つの約束 くらしと商売いきづく上京へ



1 防災対策に全力を尽くします



すぐに被災現場の声を聞き、対策を求めました。

備蓄資機材確保等の防災対策の確立、学校・公共施設や病院、介護施設等の耐震診断、補強工事を強めます。住宅の耐震改修・簡易改修制度を誰もが利用できるように条件を緩和改善し、防災力のある上京のまちをつかってまいります。

2 全ての中小企業を支援します



消費税増税中止、「民泊」やホテル建設ラッシュなどまち壊しをやめさせるとともに、西陣の生産設備への補助制度を広げ、すべての中小企業への固定費補助を行う制度実現をめざします。

3 子どもから青年、高齢者が安心してくらするようにします

子どもの医療費中学校卒業まで無料に、全員制の温かい中学校給食の実施、府独自の返済不要の給付制奨学金制度の実現に努めます。

75歳未満の老人医療助成制度(マル老)は、窓口負担を1割に戻し、安心して医療が受けられる制度をめざします。



高齢者のアンケートを実施
「払える保険料にして」の悲痛な声が寄せられました。



大学門前アンケート
ブラックバイトや奨学金返済の不安の
声が寄せられました。

消費増税 許さない！ 現場にかけつけ 府民まるごと応援

災害が各地で起こり、私は北は京丹後から南は南山城村まで駆け巡り、「4回も浸水被害。心が折れる」という被災者の悲痛な声を議会へ届け、「大型開発でなく、防災対策に予算を回せ」と知事に迫りました。京都府議3期12年、消費税増税に一貫して反対、「いのちとくらしを守る」を原点に、引き続き頑張つてまいります。



日本共産党

京都府会議員・3期

さこ祐仁

府会

迫 ゆうじ 環境・建設交通委員、子どもの健やかな育みに関する特別委員。

1955年生まれ、63歳。鹿児島県伊佐市出身。立命館大学中退。27年間、上京民商事務局で中小業者の生活相談に従事、その経験を活かし、西陣振興対策を毎議会で質問。府議会「環境・建設常任委員」、「子どもの健やかな育みに関する特別委員」など歴任。趣味はスポーツ観戦。家族は妻（看護師）と3人の息子。

さこ祐仁



消費税10%ストップ。9条改憲・原発再稼働 NO! 隠ぺい 改ざん 安倍政治とキツパリ対決